



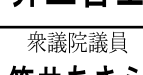
市議会議員  
砂田喜昭  
Tel 67-4322



参議院議員  
たけだ良介



前衆院議員  
藤野保史



参議院議員  
井上哲士  
衆議院議員  
笠井あきら

### 憲法改悪を許さない全国署名

## スタート

# 小矢部市でも一軒一軒訪問を再開

「憲法改悪を許さない全国署名」がスタートし、憲法をまもる小矢部の会、小矢部平和委員会は一軒一軒訪問し署名運動を始めました。

請願項目は① 自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目(緊急事態条項を含む)に反対します、② 憲法を活かし、平和と民主主義、人権、環境、くらし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます」市内で署名運動に取り組んだ方の経験を紹介します。



## 12月議会

# 水道は公営を守れ

### 砂田市議の一般質問(2)

射水市が上下水道の包括業務を外資系民間企業ヴェオリア社に委託(2019年)したことを心配していた

方から、砂田市議宛てに「水道民営化について質問してもらいたい」とも心強い、「改憲され緊急事態条項が実現しようとしていることにも不安」とのメッセージが寄せられました。砂田市議の質問を紹介します。次のQRコードで砂田市議の該当のところからYouTubeで見ることができま



### 日本政府が民営化の旗振り

というのは麻生副総理がアメリカのシンクタンクで2013年に、水道企業の設備更新や運営にこれから多額の費用が必要だから、日本の水道の民営化をぶち上げたことがあるからである。日本の水道を外資系の水道メジャーに売り渡すという日本政府の公的宣言となった。それから5年後、2018年には改正水道法が国会で議論されはじめ、フランスの水メジャー・ヴェオリア社日本人の社員が内閣府に向かい、公共事業の民営化を担当するようになった。ヨーロッパ諸国で水メジャーが撤退を余儀なくされるも、日本の上水道市場を狙っている。

こういふ危険を市民に知らせることは重要である。情報収集に努めるとともに、集めた情報を市民に情報発信してどうかとそういうことに引っかけられないようにしてもらいたい。

【産業建設部長】本市では民営化については考えていない。今後の社会情勢の変化を見ながら、さらなる情報収集に努めていきたい。

## 公明党ポスターの家でも「平和を大事に運動している」と署名

公明党のポスターを掲示している家へ入ったら、若い男性が出てきました。「政党に関係があるのか」と問われ、「直接は、ない。発起人は9条の会などで、平和を求める政党は多く参加してくれている」と答えたなら、「公明党も平和を大事にして、運動している。同じことを努力しているのだから、署名する」と応じて頂きました。「合わせて、『核兵器禁止条約加入せよ』署名にも協力を」と話

## 議員在職35年 砂田市議三つの思い出

このほどある集まりで砂田市議が議員在職35年についてのおいさつをしました。紹介にあたって固有な名詞はインシヤルにしました。

(前略) 思い出を三つ紹介させていただきます。

### (1) 市民の世論と運動を もりあげる大切さ

56豪雪、59豪雪というのがありました。他の市に比べて小矢部市の除雪が遅い、出勤前に早朝除雪したというのが、共産党から選挙へ出るように言われたときの私個人としての動機でした。当時、都会系から来た助役は、明るくならないと除雪車の出勤指令を承認しない、暗いと事故が心配などと言いつつ、富山県は夜間割増料金で除雪業者と契約しているが小矢部市は昼間料金で契約しているなどの問題がわかって、議会で取り上げるだけでなく、『明るい小矢部』などで市民や除雪業者に大々的に知らせ、早朝除雪の新しい仕組みができました。議会での議論をそこだけにどめずに、広く市民に知らせ、市民の世論と運動を盛りあげる。この大切さを学びました。

### (2) 国のゴマカシを見抜く力を

平成の大合併が吹き流れていたとき、当時の城端町長にお話を伺う機会がありました。町長は「縄を見て蛇とおびえているのかもしれないがとおっしゃったのが印象的でした。当

したら、「公明党でも署名をしている。同じでないか」とのこと。そこで「核兵器禁止条約に日本も参加すべきだ」の署名用紙にも署名してほしい。」と再度おねがいました。すると、「確か田中真紀子さんも発起人でしたね」と云いながらこれにも署名してくれました。

公明党支持のお宅でも平和の切り口なら一致できることがあると分かって嬉しかったです。

時合併しないと財政が破たんすると国県あげておおつていました。しかし私は市民の皆さんとともに地方交付税制度について学びました。ある市職員もそれに参加されて、当時の助役に合併しないと交付税が減らされるというのは間違いだと言われました。往々にして国はごまかして国のやりたいことを強行しようとする力がありません。ゴマカシを見抜く力を身につける。この大切さを学びました。私は今、これが公共施設再編の動きにも表れているように思っています。

### (3) 戦争と平和で 保守の方々とも共同

私と同期で当選した議員さんの一人にSさんがおられます。控室では隣でした。自民党の方でしたが、「砂田君、わたしの目の黒いうちは絶対に戦争はせんよ。銃弾が飛び交う下を這いぐぐって来たからなとおっしゃった」とは忘れられません。M市長も多量市民問題では、大本営の参謀だった方に、絶対にクビを縦に振らなかつたそうです。多くの戦友を亡くされたからと聞いています。36年前にM市長は核兵器をなくしようと広島長崎アピールにも署名されました。平和を守る、戦争をさせない、この点では本来保守の方々とも共同できるとの私の確信は、これら先輩たちの存在によるところにあります。(後略)